

## JSS 関西 第14回地方会のお知らせ

主 催 JSS 関西地方会・一般社団法人 日本超音波検査学会  
 実行委員長 小林 大樹 (大阪バスキュラーアクセス天満中村クリニック検査部)

JSS 関西第14回地方会を下記のとおり大阪府岸和田市で開催いたします。テーマは、「透析領域の超音波検査」です。近年、慢性腎臓病 (chronic kidney disease: CKD) 患者の増加と、透析技術の向上による生命予後改善に伴い、本邦の透析患者数は増え続けています。透析の合併症を管理するうえで、われわれソノグラファーが透析患者に関わる機会も増えてきました。そこで今回は、透析の基礎および透析患者における腹部、循環器、副甲状腺、バスキュラーアクセスの各領域の超音波検査についての講演を行います。検査依頼書に「維持透析中」と記載されていたとき、どのような点に注意して検査を進めるかを皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。透析患者に対する超音波検査の技術と知識の向上にお役立ていただければ幸いです。多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

### 記

テーマ：『透析領域の超音波検査』

日 時：2011年2月13日 (日) 10時00分～16時30分 (受付開始9時30分)

会 場：岸和田 浪切ホール 1階小ホール

参加費：正会員 (事前登録)：1,000円, (当日受付)：1,500円

非会員 (事前登録なし)：3,000円

定 員：220名

事前登録受付期間 (Webのみ)：2010年12月24日～2011年1月20日

ご注意：\*変更など最新情報や申込状況はホームページ (<http://www.jss.org/>) でご確認ください。

\*事前登録は会員の方のみご利用可能で、非会員の方はご利用できません。入会手続き中の方も会員とは認められませんので、入会の手続きは余裕をもって (1ヶ月程度) お願いいたします。

\*事前登録で定員に達した場合、未登録の方の当日参加はお受けできません。

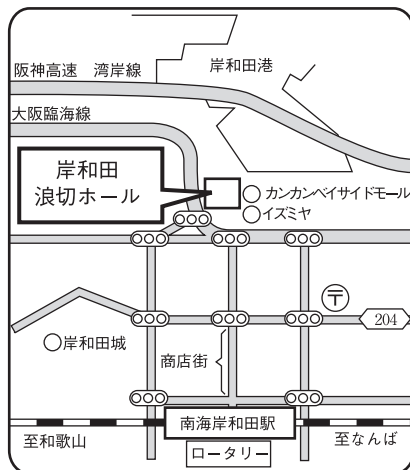
\*空席がある場合のみ当日参加を受け付けますが、受付開始は事前登録の方を優先します。

\*当日は事前登録の有無に関わらず会員証をご持参ください。

\*会場内のビデオおよびカメラでの撮影は禁止といたします。

\*会場内は飲食禁止です。昼食等は1階レストランおよび周辺の飲食店をご利用ください。

\*本会は日本超音波医学会認定の超音波検査士資格更新5単位が取得できます。



### 岸和田浪切ホール1階 小ホール

大阪府岸和田市港緑町1-1

TEL: 072-439-4173

<http://namikiri.jp/>

#### ■ 大阪方面から

南海本線「なんば」駅から「岸和田」(急行停車駅) 駅へ約30分

#### ■ 関西国際空港から

南海本線「関西空港」駅から「岸和田」駅へ約20分  
 上記「岸和田駅」より徒歩にて約10分

\*できるだけ電車・バス等の公共交通機関をご利用ください

(駐車場の割引等のサービスは行いません)

連絡先：〒640-8555 和歌山市湊1850番地 和歌山健康センター臨床検査科 渡邊 豊

TEL: 073-451-3398 E-mail: [watanabe-ytk@mail.jss.org](mailto:watanabe-ytk@mail.jss.org) (できるだけE-mailでお願いします)

## JSS 関西 第14回地方会 プログラム

2月13日(日)

9:30~9:55	受 付
9:55~10:00	開会挨拶・オリエンテーション
10:00~10:20	<p><b>第Ⅰ部 「透析の基礎知識」</b>  <b>講 師</b>：南 伸治（宝持会池田病院透析センター臨床工学技士室）  <b>司 会</b>：小林 大樹（大阪バスキュラーアクセス天満中村クリニック検査部）          超音波検査に必要な透析の基礎知識についてご講演いただきます。</p>
10:20~11:20	<p><b>第Ⅱ部 「腎臓から考える透析患者の合併症のUS診断法」</b>  <b>講 師</b>：尾上 篤志（恒進会病院腎臓病センター超音波室）  <b>司 会</b>：川端 聡（住友病院超音波検査部）          透析患者に多く発症するACDK（後天性多嚢胞化萎縮腎）腎癌やその他鑑別疾患など、腹部エコーで注意すべきポイントなどをご講演いただきます。</p>
11:20~11:30	休 憩
11:30~12:30	<p><b>第Ⅲ部 「心血管合併症を考える」</b>  <b>講 師</b>：川崎 俊博（大阪掖済会病院検査室）  <b>司 会</b>：六尾 哲（市立岸和田市民病院医療技術局中央検査部）          透析患者は心血管疾患のハイリスクグループです。透析による合併症や水分管理の評価を中心に幅広くご講演いただきます。</p>
12:30~13:30	昼 食
13:30~13:45	<p><b>第Ⅳ部 「安全活動は超音波検査にどう役立つのか？」</b>          日本超音波検査学会 安全委員会</p>
13:45~14:45	<p><b>第Ⅴ部 「知っているのと役に立つ、二次性副甲状腺機能亢進症の超音波検査」</b>  <b>講 師</b>：河村 知史（蒼龍会井上病院臨床検査課）  <b>司 会</b>：藤岡 一也（大阪市立大学医学部附属病院中央臨床検査部）          二次性副甲状腺機能亢進症に対する検査の進め方から副甲状腺摘出術前評価まで幅広くご講演いただきます。また、腹膜透析におけるトンネル感染の超音波診断についてもご講演いただきます。</p>
14:45~14:55	休 憩
14:55~16:30	<p><b>第Ⅵ部 「臨床症状から考えるバスキュラーアクセス（VA）エコー」</b>  <b>講 師</b>：南 伸治（宝持会池田病院透析センター臨床工学技士室）          小林 大樹（大阪バスキュラーアクセス天満中村クリニック検査部）  <b>司 会</b>：三木 俊（八尾市立病院検査部超音波検査室）          VAは透析を行ううえで必要不可欠であり、その管理には臨床検査技師だけでなく、臨床工学技士や看護師との連携も重要になります。実例を呈示し、透析時に発生する臨床症状を正しく理解したうえで、ソノグラファーとして観察すべきポイントについてご講演いただきます。</p>